

Chemical Bonds 支部／教育・普及部門だより

東北支部発

東北支部 80 周年国際会議 大草芳江氏特別講演

2023年9月8～10日に仙台市の東北大学にて日本化学会東北支部80周年記念国際会議が開催され、化学教育セッションでも活発な口頭講演とポスター発表が行われました。9日には化学教育部門よりNPO法人natural science理事の大草芳江氏を招待して特別講演を開催し、これまでの化学教育普及活動を紹介されました。大草氏は科学アウトリーチのNPO活動を通して、東北地区の中高生の研究発表の大会（学都「仙台・宮城」サイエンス・デイ）を創始して毎年主催されています。年々参加者が増えて10,000人を超える大きな大会となりました。そのほかにも科学・技術講座の定期的な開催など、中高生への科学教育の普及に多大な貢献をされ、日本化学会より化学教育有功賞を受賞されています。

講演では年少の頃からのやりたいことの模索の体験をもとに科学普及活動を始めるようになった経緯から、普及活



動の取り組みの実際、さらに子供たちの科学的好奇心を育むためのポリシーまで詳しく語っていただき、外国人を含む参加者に強い印象を与えました。これまでの科学教育活動を背景として今年より仙台市議会議員にも選出され、さらに科学教育の推進にご活躍されることが期待されます。

（森田明弘 東北大学大学院理学研究科化学専攻 教授）

普及交流委員会発

第9回 中高理科(化学)授業に役立つ研修会

東邦大学理学部教員養成課程と日本化学会共催による本研修会が2023年8月11日(山の日)、千葉県船橋市の東邦大学習志野キャンパスで開催された。当日は、中・高・大学の教員および東邦大学の教職を目指す学生が38名(定員40名、キャンセル2名)参加した。本研修会は、2015年より講演と実験の二本立てで開催している。今年もハイブリッド形式での開催となり、オンライン参加者は31名であった。その多くは中等教育の理科教員であったが、理科教員志望学生の申し込みもあった。

当日の講演・実験研修の様子はリアルタイムでも配信した。最初に中村晶子先生(コロラド州立大学准教授)より“米国におけるインクルーシブ教育と化学カリキュラムに必要なDiversity(多様性), Equity(公平性), Inclusion(包括性)”と題して講演があった。



図1 実験研修の様子



図2 日本化学会ホームページの特設サイト

次いで実験研修のプログラムでは土屋徹先生(東京都立小石川中等教育学校部活動指導員)が講師となり、“どのように生徒に研究指導をすることが必要か~多様な生徒に対応する金属樹の研究指導~”と題して、実験「金樹、銀樹、銅樹の実験」と「短冊形スズ樹の葉づくりの実験」などを実施した(図1)。また、現地参加者・オンライン参加者を対象に、日本化学会特設サイトから研修会資料、講演・実習や実験研修の様子、研修会前に新規に製作した実験動画等を9月末日まで期間限定で視聴できるようにした(図2)。特設サイトでは、過去実施回(第8回、第7回)の実験動画も視聴可能である。今後も質の高い研修会を継続して開催していくことが重要であるとともに、貴重な実験動画をアーカイブ資料として保存し、多くの皆様に常に活用可能な状態にしていくことが課題である。

(今井 泉 東邦大学理学部 教授)

